

道労連NEWS

発行日：2017.05.31



発行：北海道労働組合総連合 〒003-0805 札幌市白石区菊水5条1丁目4-5 Tel: 011-815-8181

「1500円」実現へ 北海道・東北から声あげよう

「最賃キャラバン2017」北海道アクション

5月30日、全労連東北・北海道ブロックによる「最賃キャラバン2017」北海道アクションが札幌市で行われ、行政や各団体との懇談・要請、街頭宣伝、交流集会などにとりくみました。

道労連と東北6県のローカルセンターによるこのキャラバン行動は、最低賃金の地域間格差が拡大し続けるなか、C・Dランク地方から最賃運動を盛り上げようと3年前（東北ブロックは10年前）から運動を積み重ねてきたものです。



最賃は復興、地域活性化の柱 「全国最賃アクションプラン」で法改正へ

30日の夜に行われた「最低賃金1500円実現をめざす札幌集会」の開会にあたり、全労連東北ブロック議長を務める齋藤富春福島県労連議長が主催者を代表して挨拶に立ち、「被災3県はまだまだ復興したといえる状態ではない。一部公共事業だけでなく、一人ひとりの懐が温まり、そこから地域にどれだけお金が回っているのかが大切。最賃の大幅引き上げは復興のためにも重要な柱の一つです。地域間格差を是正させ、いますぐ1000円、そして1500円

へと最賃引き上げを実現するために力を合わせましょう」と呼びかけました。

続いて出口憲次道労連事務局長からミニ学習「最低賃金のしくみ」と題して、誰が、何を基準に、いつ決めているのか、最低賃金決定のプロセスと全労連が提起している「全国最賃アクションプラン」

がなぜ必要なのかを関連づけて説明し、審議会に声を届けることや地域の中で合意づくりを進めることの重要性を強調しました。

全労連東北ブロック事務局長を務める中村健岩手労連事務局長から東北と北海道における最低生計費調査について報告。「どの地方でも、健康で文化的な生活を送るには22～23万円程度の金額が必要です。最賃における格差拡大は異常であり許しがたい」と、意図的に地域間格差を拡大する現在の最賃目安・ランク制度を批判。「全国一律制がどうしても必要。法改正を勝ち取るために、東北と北海道で力をあわせよう」と訴えました。

さっぽろ青年ユニオンの岩崎唯委員長は、「コンビニなう」と称するコンビニ労働者の組織化のとりくみについて報告。なぜコンビニは「ほぼ最賃」なのか、その背景にあるロイヤリティやロスチャージなどの「裏事情」が伝えられるたび、会場からはどよめきが起こりました。最低賃金引き上げと合わせた組織化の取り組みとして、「セブン(イレブン)」に行ったら、店員の方々にアンケート用紙(QR付き)を渡してください!」と参加者にも協力を呼びかけました。

フロアからの発言・交流では、札幌地区労連からは自治体での最低賃金の意見書採択のとりくみについて発言。生協労連からはパート労働者が「最賃プラス5円」の時給で働いていることや、自分たちの賃金を上げるためにも最賃闘争に結集していくとの決意が語られました。北海道国公からは非正規雇用公務労働者の実態と民間・公務が連携した賃金引上げの取り組みについて発言しました。



集会で「最賃は復興ための柱の一つ」と強調する福島県労連 斎藤 富春 議長（撮影：渋谷和也）



最低生計費を報告する岩手労連 中村 健 事務局長（撮影：渋谷和也）



最低生計費調査を見つめる若者（撮影：渋谷和也）

人口流出・減少に歯止めを！

最賃を引上げて「3つの賃金格差」の是正につなげる

北海道労働局、北海道経済連合会、北海道知事に対して、「最低賃金の引き上げと中小零細企業支援の拡充」「最低賃金引き上げに関連する労働行政の改善を求める要請」等を提出し、懇談・要請を行いました。

黒澤幸一道労連議長は、「日本の賃金には3つの格差がある」として、①男女格差、②雇用形態別格差、③地域間格差をあげ、「最低賃金の大幅な引き上げと全国一律制の実現は、この3つの格差を是正する上でも重要です。人口流出・減少を止め、若者が働き続けられる、住み続けられる地域社会を実現しましょう」と趣旨を伝え、社会保険料事業者分減額など、より効果的な中小企業支援策やランク制度のあり方について懇談・意見交換しました。

「声」が大きな力になる！

最賃「ひとこと」署名で対話を広げよう

札幌パルコ前での街頭宣伝は、道労連、福島県労連、岩手労連、さっぽろ青年ユニオンからスピーチを行いました。さっぽろ青年ユニオンの更科ひかりさんは「時給1500円って聞くと、えっ、高くない？と思うかも知れないけど、年収で260万ちょっとです。買い物行ったり、デートしたり、若者がフツーに暮らすために必要な金額なんです。最低賃金を引き上げて、フツーに暮らせるあたりまえの賃金を実現しましょう」と呼びかけました。街頭では「ひとこと署名」にも取り組み、「東京などの大都市との格差をなくそう!!」「皆が安心して暮らせる日本にしてください。生活費が最低でも文化的に暮らせて、はじめて考えることができるのが人間だと思います」などの『声』が寄せられました。

6月5日には、いよいよ第1回目の北海道地方最低賃金審議会が始まります。「ひとこと」署名での対話をおおいに広げ、大幅引き上げを求める声をたくさん集め、その声をしっかりと審議に反映させましょう。



「審議会に声を届ける6.5アクション」～最賃1500円・全国一律制実現へ
日時 6月5日(月)12:30～13:00 / 札幌第一合同庁舎前(北海道労働局前)